

学び意欲 強いからだ ゆたかな心

平成30年度 五福小だより

平成30年9月7日（金）NO. 14

多発する天災

6日未明、北海道で大きな地震が発生し、時間がたつにつれて、大きな被害が報告されています。今年は、大阪北部地震・平成30年7月豪雨・猛暑・台風21号、そして、この北海道での大地震と大きな災害が続いています。水島地区としては、大きな被害もなく日常生活が普通に送ることができていますが、いつ災害が起きるかわかりません。岡山県の安全神話は、準備不足を助長していたかもしれません。

以前、自分が住んでいる地区で防災の話聞く機会がありました。講師の消防署の方は、「阪神淡路大震災」を子どもの頃に経験されたそうです。今でも、2Lのペットボトル2本、枕元に置いて寝るそうです。災害があったときには、2日間は、自力で過ごせるようにしておくようにとそのとき言われていました。

ご家庭では、災害があったときの持ち出しものとか待合場所などが決まっていますでしょうか。あつては、いけないことですが、本腰を入れて考えておく必要が出てきています。

学校生活

いつもの光景も本当はかけがえのない時間なのです。子どもたちのがんばりをとても楽しみにしています。毎日、子どもたちを笑顔で送り出してください。学校からも笑顔で帰ることができるようにがんばります。



朝休み 元気に外遊び



朝学習 計算カード



給食時間 アレルギー指導



校舎をきれいに

P T A奉仕作業のあと、職員作業で、廊下の床の汚れ落としと1階2階の廊下の壁のペンキぬりをしました。

気持ちのよい環境というのは、とても大事だと考えています。校舎も古くはなっていますが、耐震化工事も終えているので、これからも大事に使っていききたいと思います。

